公研 2019 年（2019 年 1 月号～12 月号）

■ 4 月号 平成 30 年度警部補一次試験の復元と解説（SA 実務）

p. 26 総務・警務 No. 28 問題（3）と解答・解説（3）、（5）

問題（3）を、以下のとおり差し替えます。

ネットワーク上のデータをやり取りするに当たって、データを「パケット」と呼ばれる大きな塊にまとめて送信する方法により、データを分割して送信することで生じる他の通信への障害を防ぐことが可能である。

これに伴い、解答・解説（3）、（5）を以下のとおり差し替えます。

（3） 妥当でない。 ネットワーク上でデータをやり取りするに当たって、大容量のデータを一度に送信してしまうと、その通信が終了するまでの長い間、他の通信ができなくなる。それを防ぐため、データをパケットと呼ばれる小さな塊に分割して送信することで、複数の通信を並行して行えるようにしている。したがって、「大きな塊にまとめて…」以下の記述が妥当でない。

（5） 妥当。 ツイートを投稿するには、アカウント登録をしてログインする必要があるが、投稿された他人の公開ツイートを閲覧するだけであれば、ブラウザ検索により閲覧ができ、アカウントの登録は不要である。なお、Twitter アプリからツイートを閲覧する場合は、アカウントの登録・ログインが必要である。

■ 9 月号 平成 31 年度巡査部長二次試験の復元と解説（SA 法学）

p. 60 刑事訴訟法 No. 13 解答・解説（5）

No. 13（5）の解説を、以下のとおり全て差し替えます。

（5） 妥当でない。 検証の意義は枝文前段のとおり。携帯電話機の位置情報の探索は、捜査機関が秘密裏に個人の行動を長期間継続的に把握することを可能にするという点で、個人のプライバシーを侵害するおそれがあることから、強制処分の性質を有するところ、携帯電話機から発信された電波を受信した基地局及び受信方向等のデータから判明する位置情報の内容を、五官の作用により認識するものであるから、検証に当たり、これを行うには原則、検証許可状の取得を要する。なお、判例は、GPS 捜査（捜査機関が能動的に、車両に秘かに GPS 端末を取り付けてその位置情報を探索・把握する捜査手法）を強制処分と認

定した上、事前の令状提示に代わる公正性の担保手段が確保されていないこと等から、既存の刑訴法上の強制処分によることはできない、と判示している（最大判平 29・3・15）。これと携帯電話機の位置探索とは、捜査手法としては異なるものの、プライバシーの侵害となりかねない点では特に異なるところがないこと、また、現在の携帯電話機の多くに GPS 機能が搭載されていることなどから、携帯電話機の位置探索を行うに当たっては、上記判例を意識した慎重な配慮が要請される。